



先週末、間に合いませんでした…

校長室だより

令和5年6月12日

No.8

いよいよ梅雨入り。なんだかもうけっこう降ったような気もしますが、これからが本格的な雨のシーズンということでしょうか。台風の影響もあり、大きな被害が出ている地域もあるようです。天気予報や災害情報などにも十分気を配っていきたいですね。

そんな、もしもの災害などに備えて、本校では避難訓練を年4回実施しています。地震や火災など想定を変えたり、煙体験を組み入れたりして、いろいろな対応ができるようにして行っています。先週6日には今年度第1回目の避難訓練が行われました。今回は給食室から出火ということでした。非常ベルが鳴り、副校長先生の放送を聞いて、みんな先生たちの誘導にしたがってグラウンドに避難です。途中、座り込んでしまう子もいたものの、そこは先生たちがうまく誘導していきます。グラウンドでは学部ごとに集まって人員確認。学部長の先生から副校長先生に報告。全員の無事が確認されるまで6分30秒ほどでした。小学部の子もしっかり先生の指示を聞いて座って待っていましたし、中学部は一番早く人員報告ができました。高等部はさすがに落ち着いて取り組んでいる様子が見られました。避難するときの合言葉「おかしも」～おさない・かけない・しゃべらない・もどらない～もみんなよく守れていたようです。

火事なんてそうそうあるものではありませんが、いつ、どこで、どんな具合に…は、わかりません。ほんごうでも少し前、4月はじめにグラウンド裏の山に飛び火があって、一時はフェンス近くまで火の手と煙が迫ってくるほどのことがありました。この時はまだ春休み中で子どもたちが在校しておらず、すぐに消火でき大事には至りませんでした。子どもたちがいたら避難体制が必要だったと思います。火事を出さないことが一番ですが、火事になった場合の身の守り方も大事なことです。避難訓練や日頃の学習の中でみんなで考え、身につけていきたいと思います。

以前、ある学校で副校長を務めていた時のこと。ある朝、出勤すると（副校長がだいたいの学校で一番早く出勤します）、坂の上にある学校近辺の様子が騒がしい？坂を上り切ると目に飛び込んできたのは校門の前に並んでいる3～4台の消防車。赤いライトがくるくる回り、消防士さんが走り回っています。「え～！学校が火事？」慌てて消防士さんに「この学校の職員です。何かありましたか？」と聞いたところ、早朝、校内の警報装置が火災を感知し自動発報。警備会社と消防署に警報が行き、消防車出動。でも、内部を確認したところ異常なしということでした。火災ではないとわかり胸をなでおろしましたが、なぜ警報装置が作動したかが不明。どうも給水管のどこかから漏水があり、それが何かのセンサーにあたって火災と感知して発報したらしい…一言で言うと「古い建物なのでどこかに異常があるようだけどよくわからない」でした。しばらくして校長やほかの職員が出勤してきたころには何事もなかったようないつもの静かな朝になっていました…。

グラウンド脇のアジサイとガクアジサイ

